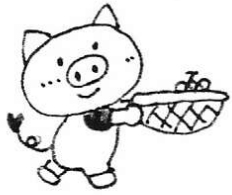




もも組だより<9月号>



令和3年9月22日 ことり保育園

担当:海老澤



陽ざしにはまだ夏の名残がありますが、朝晩は過ごしやすくなってきています。

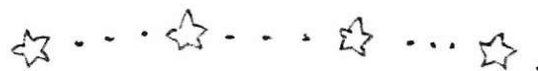
散歩に出掛けるときのことです。保育者が「今日は何がいるかな?」と声を掛けると、ある子が「セミいけいね。」と。しかしその日は、セミの姿も鳴き声もありませんでした。それがその日は、「聞こえない」「見えない」と気づいたのです。

散歩中、「ひこうき」「とんぼ」「ちゅうちょ」と発見したものを教えてくれる子もいます。

「あ」と言っ、興味を持つたものを教えてくれる子もいます。柿の木を見て、指を差して教えてくれたので、

「もうすぐ緑色からオレンジ色になるね。」「甘い柿食べたいね。」と子供の気持ちになって話しました。秋が近づいていることを散歩を通してたくさん感じました。

ところで、先日製作をしました。お花紙をちぎったり、丸めたり、のりを塗った画用紙に貼り付けたりしました。子ども達それぞれ興味を持つところが、異なっていました。ちぎることを存分にやり続ける子、のりが気にしたり触ってみる子、のりのフタの開閉を何度も楽しむ子。一つの活動の中でも、子ども達の興味の違いを見ることが出来ました。一人一人の「やってみたい」という気持ちを大切にしながら保育していきたいです。



持ち物には大きく、はっきりと
記入してください。

